

全国学力量習状況調査の児童生徒質問紙結果の結果

【全体の傾向】

カテゴリ-1 《学校生活について》

精華町の小学6年生及び中学3年生の80%以上が「学校に行くのが楽しいと思いますか」の質問に対し、肯定的に回答しています。また、「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか」という質問では、小学6年生で88.5%、中学3年生で81.2%の児童生徒が大きな達成感を味わっていることが分かります。

カテゴリ-2 《学習状況について》

国語・算数(数学)・理科の授業に関する質問において、精華町の小学6年生や中学3年生は、「積極的に授業に参加して発表したり、説明したり、うまく伝わるように工夫しますか」の質問に対して、「当てはまる」と回答した割合が全国と比較して高いことが分かります。

カテゴリ-3 《自分自身の事について》

「人の役に立ちたいと思いますか」という質問では小学6年生、中学3年生とも、昨年度と同様で90%以上が「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と回答しています。

カテゴリ-4 《規範意識について》

精華町の小学6年生・中学3年生の約90%が「学校の規則を守っている」と回答しています。また、「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」の質問においては、90%を超える児童生徒が肯定的な回答をしています。「いじめ」に関する質問においてもほとんどの児童生徒が「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と判断しています。

カテゴリ-5 《体験的な活動について》

「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか」の質問においては、小学6年生は全国より高い割合を示していますが、中学3年生は、全国と同等程度の割合になっています。また、地域の行事への参加に関する質問では、小学6年生は積極的に参加していることが分かります。

カテゴリ-6 《家庭生活について》

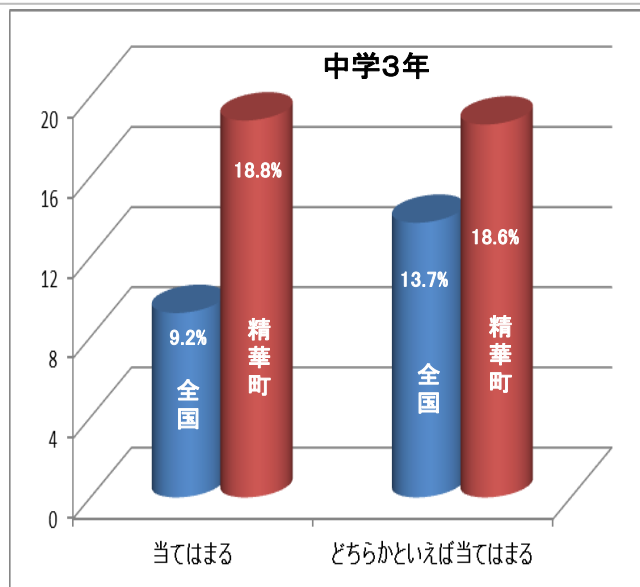
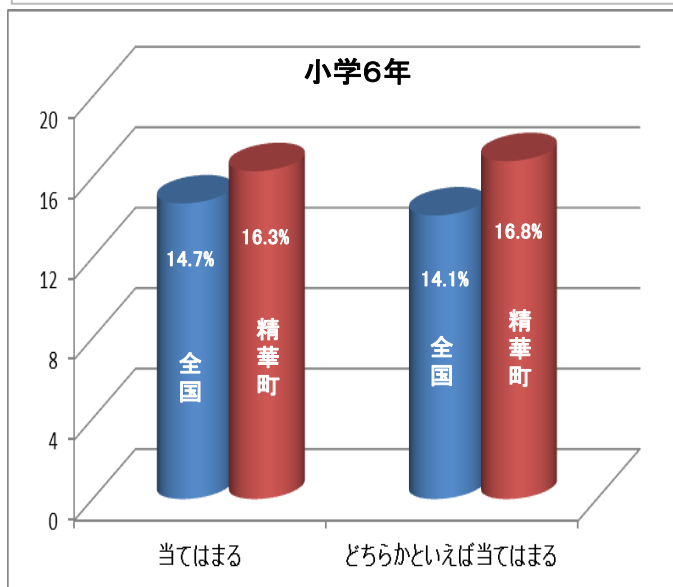
「普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、コンピュータゲーム(携帯電話やスマートフォンによるゲームも含む)をしますか」の質問では、概ね小中学校とも全国並みですが、中学3年生においては、3時間以上ゲームをしている割合が全体の16.8%を示しています。家庭において、携帯電話やスマートフォンの使用ルールを決めることは大切であると考えられます。

精華町の小学生と中学生の大まかな状況(詳細はHPをご覧ください)

特徴的な状況として

(質問紙調査の結果より)

【質問】 将来、理科や科学技術に関係する仕事につきたいと思いますか。



児童生徒に対する学習状況調査(質問紙調査)の中で「将来、理科や科学技術に関係する仕事につきたいと思いますか」の質問について、全国を上回る顕著な結果が見られました。特に中学3年生において、「当てはまる」と回答した生徒の割合が全国と比較して大きく上回る値を示しております。しかし、その半面「理科の勉強が好きですか」の質問では、概ね全国と同等程度でした。特に理科の授業においては、実験や観察などを積極的に取り入れながら、児童生徒の知的好奇心を揺さぶる興味深い授業を行うことが大切であると考えております。